

# 学校だより

平成23年9月2日発行

**明るく 元気に たくましく**

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304 E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

FAX 082-245-0349 ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



平和のでっかい絵

## □ はじめに

日中は相変わらず猛暑が続いていますが、朝夕は幾分涼しくなり、秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、お元気で過ごしのことと存じます。お子様にとって有意義な夏休みとなりましたでしょうか。

さて、いよいよ2学期が始まりました。2学期は、運動会、体育祭をはじめとして学校内外で多くの行事があり、児童生徒には、それらの諸行事において、これまで学んできたことを一杯発揮してほしいと期待しています。また、本校の児童生徒が、得意とすることで輝いてほしいと願っています。そのために、本校教職員は精一杯支援をしていきます。保護者の皆様には、今後とも本校の教育に、御理解と御支援をよろしくお願いします。

## □ 夏期研修会

7月21日(木)、研究部主催の生活単元学習に関する研修を皮切りに、本校において、11日間に渡って17(そのうち、校外の教職員等に公開した研修会は7)の研修を実施しました。本校以外の方も多数参加され、少しでも他の小学校、中学校、高等学校等にお役に立てたのではないかと考えています。研修の講師は、大学や関係機関などの専門家の方々や本校の教員が行いました。また、この夏、本校の研修だけでなく、特別支援学校の免許を取得するための認定講習への受講や教育センターを含め専門性を高めるための各教科等の研修講座、研修会などに多くの教職員が意欲的に参加しました。今後は、研修した内容を2学期からの児童生徒の指導に生かしていきたいと考えています。



夏期講習会(元愛媛大学 上岡教授による自立と社会参加を実現するための授業改善)

## □ 高等部入学希望者学校見学・説明会、高等部入学相談

7月22日(金)に、高等部入学希望者学校見学・説明会を実施しました。内容は、施設見学、授業や行事の紹介、学校の概要説明で、生徒65名、保護者69名、教職員34名、計168名の参加者は、熱心に学校の様子を見聞きしていました。特に、本年度は、移転・開校、職業コースの設置の情報が新聞等で報道されたこともあってか、昨年度より中学校からの参加者は十数名多くなっています。なお、本校は、入学願書を提出するには、入学相談を受けておくことを前提としていますが、7月26日から8月10日まで高等部入学相談を実施し、68名の生徒が相談を受けました。本校を目指してくる生徒が多くなることは、誠にうれしい限りですが、やはり、本校に来て学習したいという意欲のある生徒には是非入学してほしいと思います。各中学校におかれましても、それぞれの生徒の課題に対し手立てを講じ、適切な進路指導をしていただくようお願いしているところです。なお、この期間以外にも、必要があれば入学相談を行っています。



夏期講習会(広島大学講師 石附作業療法士によるえん下、摂食の演習の様子)

## □ 夏期教育相談会

8月2日(火)から11日(木)まで、夏期教育相談会を実施しました。この取組は、本校の就学区域内の小・中・高等学校の教職員を対象にしたもので、特別な教育的ニーズのある児童生徒への有効な支援につなげるために実施しました。相談件数は11件で、児童生徒の指導や支援に関わることが10件と最も多く、その他、個別の指導計画に関する事、個別の教育支援計画に関する事、福祉制度やサービスに関する事等がありました。相談に来られた教職員から、「相談して大変良かった。」との声を聞いています。教育相談会での実績を積み重ねることによって、他校の教職員のニーズを知るとともに、本校の教職員も標準検査や指導法等の力量を高めて、より一層、充実した相談会にしたいと考えています。



高等部入学希望者学校見学・説明会

## □ 高等部生徒就職支援連携会議

8月2日(火)に、広島公共職業安定所就職促進指導官、広島東公共職業安定所上席職業指導官、広島障害者職業センター所長、広島県就労振興センター就業支援ワーカー、広島障害者就業・生活支援センター就業支援担当、広島障害者雇用支援センタージョブライフサポーター、広島



就職支援連携会議の様子

市教育委員会特別支援教育課指導主事の8名をお招きし、高等部就職支援連携会議を行いました。企業就労した卒業生のアフターケアの取組状況、第3学年の企業就労に向けての取組状況についての情報交換及び意見交換をしました。課題として、体調管理や食生活等生活上のことが多く出されました。課題への対応として、事業所と職業安定所との連携、家庭の支援が重要であること等の意見をいただきました。今後は、学校の作業学習の取組について意見を伺ったり、課題となった事例について学校がどのように取り組んでいったか振り返ったりすることで、より今後に生かせる内容となり、その成果が生徒に還元できるものになればと願っています。



教材・教具相談会の様子

#### □ 教材・教具相談会、教材・教具展示会

8月2日(火)に、広島国際大学教授坊岡正之様をはじめ、広島市工業技術センター、広島市産業振興センター、福祉用具開発研究会の企業、更生相談所から12名の皆様に御来校いただき教材・教具相談会を実施しました。本校の教職員が、日頃考えたり、工夫したりした教材・教具、自助具やそのアイデアを専門の方に説明・相談し、よりよい教材・教具、自助具を開発しようとする試みです。皆様が、とても熱心に議論され、アイデアを出し合っていました。重度重複の生徒へディスプレイを活用した視覚支援の仕方、調理の際に肢体不自由児童生徒が自分で包丁で切ることが出来るような工夫等、どうしたら活用できるか、坊岡教授の御指導・御助言も伺ったり、試行錯誤しながらその場で製作したりして、4時間以上にもわたり話し合いました。こうしたことを積み重ねて、よりよい教材・教具、自助具が開発され、少しでも多くの児童生徒のためになればと切に願っています。



教材・教具展示会の様子

また、教材・教具展示会を8月5日(金)から8月25日(木)まで本校で実施しました。本校教職員が作成した教材・教具を展示し、多くの来校者にも見ていただき、好評を得ることができました。



就労・生活支援ネットワーク会の様子

#### □ 就労・生活支援ネットワーク会、生活支援相談会

8月23日(火)、就労支援ネットワーク会を実施しました。お招きしたのは、瀬野川学園コーディネーター、広島市手をつなぐ育成会いくせいのコーディネーター、もみじ作業所所長、もみじ福祉会めーぶる相談員、こども療育センター地域支援部指導員、きつつき共同作業所所長、おりづる作業所施設長、森の工房みみずく施設長の方々です。高等部各学年の現在までの進路状況と課題、特に、福祉就労先に受け入れ可能な人数が少ないという厳しさに対して、どのようなことができるか御意見をお伺いしました。生徒の指導目標の達成に向け、生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、きめ細かな指導を行い、その成果を積み上げていく取組を本校教職員全員で行っていくことが大切であると思いました。なお、当日午前には、生活支援相談会を実施し、上記の方々を相談支援者として、30件の相談を実施しました。そのうち22件が高等部、6件が中学部、2件が小学部の相談でした。



生活支援相談会の様子

#### □ 建替ニュース

7月25日(月)、8月9日(火)、8月24日(水)の3回、モックアップ説明会を本校で行いました。新校舎の各場所の仕様等について、営繕部設備課、施設課、特別支援教育課、業者の方々に御来校いただき、本校教職員も交え最終の詰めを行いました。厨房の調理器具の大きさ、トイレの床の仕様、各トイレの便器の大きさや洗面台の仕様、エレベータのスイッチなどについて業者の説明を聞き、使用する上で改善した方がよいことを中心に長時間にわたり協議をしました。なお、工事の状況は、右の写真にありますように、着々と進んでいます。



建替工事の様子(8月28日現在)

#### □ お知らせ

本校の高等部第1学年の谷川昂太郎君が8月9日(火)広島市立高等学校体育大会卓球の部に出場し、見事、準優勝となりました。谷川君、おめでとう。また、特別支援学校の児童生徒が作品や製品を出品する広島県特別支援学校美術・工芸展では、本校高等部の生徒21名が作品を出品しました。その他、多くの児童生徒がスポーツや文化的活動に参加しました。自分の力を精一杯発揮してくれて本当にうれしく思います。これからも自分に自信をもって、いろいろなことにチャレンジしてくれることを期待しています。



広島県特別支援学校美術・工芸展  
本校生徒の作品